

気象界消息

1. 北陸地方に大雪

12月29日から31日にかけて北陸地方に大雪が降り、また1月に入ってからも5日頃まではにわか雪が続いたため、国鉄は大混乱をおこした。長岡、柏崎間の塚山および直江津では、30日から31日にかけての1日積雪量はそれぞれ、175cm, 125cm に達した。

太平洋では、フェーン現象のため異常乾燥をおこし、12月30日には東京の相対湿度は13%まで下った。また連日の異常乾燥のため火事がひん発した。

2. ニューヨークの吹雪

米国東部では12月12日朝から、風速 14m/sec の強風と30cm をこえる積雪があり、交通はまひ状態となり、燃料は不足し、異常な寒さのため死者は 110 余名に達した由。

3. オゾンシンポジウム

1961年8月(日未定、6日から1週間、または、13日から1週間)スイスの Arosa で、IAMAP(International Association of Meteorology and Atmospheric Physics) の国際オゾン委員会と W.M.O. (国際気象機構) との共催の下に、「大気オゾンに関するシンポジウム」が開催される。関心のある方は気象研究所の三宅泰雄氏にご連絡下さい。

4. 第2回原子力研究総合発表会

1961年2月15日から4日間学士会館(神田一つ橋)において、第2回原子力研究総合発表会が開かれる。今回は研究発表 316 篇のほか討論会 3 件、総合講演 7 件、招待講演 4 件を加え、連日 4 会場(学士会館内)に分れて開催される。参加は自由である。

5. 第3回ロケットと天文航法の国際シンポジウム

第3回ロケットとアストロノーティックスの国際シンポジウムが1961年8月28日から5日間、東京(場所未定)で開かれる。発表希望者は6月10日までに論文名および100語程度の英文内容抄録を、東京都文京区本富士町東京大学工学部燃料工学科 疋田教授 宛にお送り下さい。

6. 山口氏シドニーへ

本学会会員山口協氏はオーストラリアのシドニーで、「雲の研究(人工降雨)のため」1月17日から1年間留学のため同日出発された。

7. 松島氏南大東島に出張

南大東島における高層観測開始に伴う高層観測資材の設置調整ならびに観測技術指導のため高層課検定官松島富美雄技官は2月6日から3月15日まで同島に出張される。

神山氏訪中募金について

気象学会理事神山恵三氏の中国訪問に際して、当国際学術交流委員会より募金をお願いしましたところ、会員および一般の多数の方から絶大の御支援を賜わり、募金額の総計は53,327円の巨額に達しました。ご協力下さった各位に厚く御礼申し上げます。

神山氏は、日中交友協会学術代表団の一員として、さる1960年11月26日より約1ヶ月の間、中国各地を視察交歓せられ、貴重な見聞を得て無事帰国されました。詳細は改めて本誌上でも報告されることと思います。

なお上記募金額は全額神山氏の訪中資金にあてられ、また気象学会より調査活動費として20,000円が支出されました。神山氏より下記の通り支出明細の報告がありましたので、あわせてご報告致します。

1961年1月19日

日本気象学会国際学術交流委員会

☆ ☆

募金額および氏名つき(申込順)

以下総計 53,327円

1961年1月

1,300円(但し送金はこれより郵便料金を差引く額
1,227円) 鹿児島地方気象台 井手利四郎(1) 野田義男(1) 森茂善(1) 長浜宗政(1) 上城一市(1) 長田英二(1) 岡村存(1) 宮元実(1) 稲垣豊秋(1) 菊地経武(1) 植村八郎(1) 竹永一雄(1) 神原健(1)
700円 大阪航空測候所 河野武(3) 福長光雄(1)
380円 佐賀地方気象台 堤次郎(3)

☆ ☆

支出明細書

32,000円	分担金(日中友好協会納入)
4,500円	賃金カット9,073円の一部補てん費
12,000円	仕度金の一部
1,700円	保険金
20,000円	調査活動費(交通、郵便、会合、土産品費等)の一部
2,500円	参考図書費(中日年鑑他)
627円	雑費

73,327円 計